

口腔・栄養関連サービス推進のためのリーフレット例（三つ折り）
本稿をもとに、オンラインツールを活用し作成

お食事でお困りになっていることは
ありませんか？

かむこと、
飲みこむことが
最近難しい。
体重が減ってきた。
どんな食事のかたち
や内容がいいの？

など・・・



管理栄養士、
歯科衛生士等がいる
通所事業所は
口腔・栄養（食事）の
相談窓口です。
お困りごとを

お気軽にご相談ください！

栄養改善加算・口腔機能向上加算の 具体的なサービス利用例

朝食にたんぱく質が不足している80歳代男性
1食あたりたんぱく質が20g（必要たんぱく質量
1日 60g）が必要のところ、朝食では8.7gと不足し
ていました。*体格やご病気によって必要量は変わります。

管理栄養士が、「朝食にヨーグルト1個（100g）を
追加して、たんぱく質の多い食品を食べましょう」と
お声掛けしました。手軽さ、常備できるものを心掛
け、パンの選定時のポイントをお伝えした結果、たん
ぱく質の必要性を理解され、6か月後、1食 18.3gに
増加しました。また、便秘も改善しました。

そして、歯科衛生士に、「上手な歯みがきの習慣
で、誤嚥性（ごえんせい）肺炎の予防ができました
ね」と言われました。



朝食のたんぱく質量の変化

令和5年度老人保健事業推進費等補助金
老人保健健康増進等事業
「通所事業所における口腔・栄養関連
サービスに関する調査研究事業」

口腔・栄養のサービスの
くわしくはこちら

お問い合わせ

TEL 123-456-7890

住所

●●事業所

通所サービスご利用者様・
ご家族のみなさまへ

口から食べる楽しみを いつまでも



ご存知ですか？
通所の口腔・栄養のサービス
当事業所は次のサービス
を行っています

● 口腔・栄養の問題を
確認するサービス

- 口腔・栄養スクリーニング加算
- 栄養アセスメント加算

● 口腔・栄養の問題解決を
一人ひとりを行うための
サービス

- 栄養改善加算
- 口腔機能向上加算

口腔・栄養ケアの大切さ

口から食べる楽しみを維持することは、体重減少が抑えられ、筋肉量の減少を防ぎます。筋肉量が減ると、転倒や骨折、疾患が悪化する危険性が高まります。重度化防止のためにサービスを活用しましょう。



かめない・飲みこめない・食べられないと体重、筋肉量が減り転倒などの恐れがあります。

口腔を健康に！
食べられると元気に！
リハビリも効果的に！



ご利用の流れ

1.相談する

相談員等が口腔・栄養のお困りごとを伺います。
電話などでお問い合わせください。

3.サービス開始

ケアプランに沿って、口腔や栄養に関する支援が開始されます。

2.介護保険

サービスの調整

ケアマネジャーが、課題を踏まえ、専門職の支援を提案、ご本人・ご家族の同意を得て、通所との調整を進めていきます。ケアプランを作成します。

4.モニタリング

経過を確認するため、相談員等がお話を伺います。

シニア期の栄養目標

「身体の機能を低下させない」
そのために

担当者
管理栄養士



- ・適度な運動や休養による体力の維持
- ・生きがいや楽しみを感じながら日々の生活を送ること
- ・栄養バランスのとれた食生活で低栄養を防ぐ

